

【 議事要旨 】

会議名	基本設計完了のご報告	作成者	消防総務課
-----	------------	-----	-------

開催日時	令和8年(2026年)9月26日(土曜日) 10時00分から11時30分
開催場所	鎌倉青少年会館 大研修室
参加者	近隣住民、自治会・町内会関係者 15名 ☐ 消防本部 ・次長兼消防総務課長 中嶋、消防総務課 総務担当 担当係長 大澤 ☐ 都市調整部 ・公共施設課 担当課長 岩元、課長補佐 伊東、星野
内容	【議事要旨】 ☐消防総務課の進行により開始した。 1 開会の挨拶【次長兼消防総務課長 中嶋】 鎌倉地域の新しい消防施設の建設するにあたり、基本設計がまとまったため、その内容のご報告を目的としている。 2 職員紹介 職員の自己紹介を行った。 3 議事進行【消防総務課総務担当担当係長 大澤】 資料をスクリーンに投影し、基本設計の概要について説明を行った。 (1) 設計における3つの方針について (2) 建築概要と各階の構成について (3) 景観、音、夜間への配慮について (4) 今後のスケジュールについて 【主な質問と回答】 1 地盤の液状化・浸水対策について (1)質問：ボーリング調査の結果はどうか。ハザードマップではPL値15以上で液状化の可能性が高いとなっている。 回答：地質調査の結果では、液状化指数PL値は0.1～8程度の数値となっております。液状化の程度としては「なし」または「軽微・小さい」という結果ですが、完全にゼロというわけではありません。 (2)質問：近年、想定を超える集中豪雨が増えている。出動時に道路が冠水して緊急車両が出動できなくなる懸念への対策はあるか。 回答：大雨警報発令時など危険が予見される場合は、あらかじめ車両を高台へ

退避させるなどの対策を行います。敷地については、南側から北側の道路側に向かって傾斜しております。一時的な大雨の排水については近隣とも協力しながら対策を講じてまいりたいと考えております。

2 出動ルート・渋滞・救急体制について

(1)質問：休日の鎌倉（特に八幡宮周辺や沿道）は慢性的に渋滞する。移転統合により由比ガ浜や材木座などの南地区への到着時間に影響が出ないか。南地区から離れることについて説明が不十分と感じている。

回答：緊急走行（サイレン・赤色灯）で、2.5km圏内において約4～4.5分（平均時速30km計算）での到着を想定しています。現在の鎌倉消防署（由比ガ浜）は救急車が1台であり、出動中の場合は浄明寺や七里ガ浜出張所から向かうことになり、10分以上かかるケースもございます。

（仮称）雪ノ下出張所には救急車を2台配置する計画ですので、1台が出動中であっても2台目が即座に出動できるため、南地区へも4～5分以内で到着が可能となります。これにより、旧鎌倉全体のカバー力は向上いたします。材木座の自治会の皆様へも説明を行い、ご理解をいただいております。

(2)質問：休日は観光客で人口が何倍にも増え、八幡宮から駅前の渋滞で消防車、救急車が戻れなくなるケースが懸念される。休日対策を考えてほしい。

回答：休日の運用や現場への到着・引き揚げ体制等についても、検討と対策に努めてまいります。

3 建物配置・プライバシー（南側窓等の配慮）について

(1)質問：敷地境界から建物までどの程度の離隔があるか。また周辺の住宅やマンションに対するプライバシーへの配慮はどうか。

回答：北側は道路から3m程度セットバックしています。東側通路は車両が通行するため約3m程度、西側通路は建物へのアプローチのため1.5m～2m程度、南側及び西側（L型の入隅部）は隣地境界から1m弱となる計画です。

(2)質問：4階の大きな窓はどの方向に向いているか。4階の窓から覗かれたり、逆にこちらから覗いてしまったりしないか。

回答：4階多目的会議室の大きな窓は北側（道路側）を向いております。また、3階部分からセットバックしているため、道路から見えにくい構造です。なお、4階の東西壁面には開口部を設けない計画となっております。

(3)質問：仮眠室の配置はどうなっているか。南側は住宅が近接しているため、南側窓にルーバーもなく、カーテンのみの対策だと、窓を開けた際に視線が合ってしまう不安がある。特に南側窓の配慮はどうか。

回答：3階仮眠室（隊員が使用する個室）は北側、東側及び南側に配置されます。南側にはルーバーを設置しない計画であるため、隣接する住宅へのプライバシーや視線への配慮は大変重要と認識しております。隣接住民の方々に不快感やご心配をおかけしないよう、ガラスの仕様、開

口部の開閉方法、目隠しの構造などについて、今後の実施設計の中で、具体的な検討を進めてまいります。

(4)質問：境界付近の音対策やフェンス、植栽はどうなるか。

回答：原則、隣地境界部はフェンスの設置を検討しております。植栽についてはスペースが限られているため、配置できる範囲について実施設計の中で検討してまいります。

4 訓練について

(1)質問：上下方向（はしご登はん等）の訓練はどこで行うのか。

回答：2層吹抜けの車庫内で、2階部分にキャットウォークを設け、はしごを掛けて上下昇降の訓練実施を想定しています。また、地下へ降りる訓練も可能な構造を検討しております。訓練時はシャッターを閉めて音漏れを防ぎます。放水訓練については屋外で実施いたしますが、屋外階段に向かって放水し、その水が地下の防火水槽へ循環して再利用できるシステムを計画しております。

5 3階外壁ルーバーの機能について

(1)質問：3階北側に設置する横ルーバーの機能は何か。意匠、目隠しのものか。

回答：景観・意匠上の役割に加え、3階仮眠室の空調については維持管理の点から個別空調としております。そのため設置される多数の個別空調室外機を隠す「目隠し」の機能を兼ねています。また、視線を和らげる目的もあります。

6 夜間出動時の騒音・サイレンの運用について

(1)質問：以前の意見交換でも一番懸念されたのは夜間の出動音。住宅地でもあるため、出動時の配慮（サイレン音量等）を約束してほしい。

回答：敷地内（車庫内）ではサイレンを鳴らさずに出動する運用を徹底いたします。道路交通法に基づき完全に無音での走行はできませんが、音量が徐々に上がる「フェードインサイレン」や、音質を和らげた「コンフォートサイレン」を採用し、夜間帯の近隣配慮を最大限行ってまいります。

7 工事期間・施工上の配慮について

(1)質問：工事期間中の騒音・振動、土日休工などの施工ルールはどうなるか。

回答：施工は平日作業を基本とし、原則として土日休工（週休2日）といたします。やむを得ず土日に作業を行う場合はあらかじめ近隣へ通知いたします。また、低騒音・低振動重機の採用や施工車両の運行管理を徹底してまいります。

8 4階多目的会議室の利用について

(1)質問：多目的会議室は地域の自治会・町内会や商店会の会議に利用できるか。

回答：多目的会議室は救急・防災講習など消防施設としての利用が原則ですが、自治会・町内会、商店会など地域団体での利用は検討しております。生涯学習センターのようなオープンな貸し出しは想定しておりま

	せんが、地域に根ざした消防庁舎であることから、顔の見える地域団体とは信頼関係の下で運用してまいりたいと考えております。 (2)質問：自治会・町内会が使用できる物入はあるか。 回答：スペースが限られているため、自治会・町内会の資機材等の保管場所を設置することはできません。 9 配備車両及び既存庁舎の跡地利用について (1)質問：（仮称）雪ノ下消防出張所に配備される車両の構成はどうか。 回答：救急車2台、消防車2台等を予定しております。既存の鎌倉消防署、浄明寺出張所から消防力を落とさない形で配備いたします。なお、はしご車については、他庁舎での運用・配備となります。 (2)質問：鎌倉消防署、浄明寺出張所の跡地利用はどうか。 回答：鎌倉消防署の消防機能は移転により終了いたします。跡地利用については消防ではなく他部署において検討が進められる予定であります。浄明寺出張所については、消防や防災の資機材庫での利用を検討しております。 10 今後のスケジュールについて (1)質問：本日の内容はいつ公開されるのか。 回答：10月上旬に市ホームページに掲載を予定しております。本日の質疑応答内容も取りまとめ、あわせて掲載いたします。 (2)質問：今後も住民説明会は開催されるか。 回答：今後も定期的に報告させていただきます。10月からの発掘調査に伴う現地説明会も開催を予定しております（町内会・ポスティング等で案内）。令和9年8月末に実施設計が完了するタイミングで、最終的な設計報告として再度住民説明会を開催する予定です。 【閉会】 閉会后、個別の質疑対応も継続して行う旨を案内し、説明会を終了。
今後対応	皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に検討し、可能な限り設計に反映させるとともに、プライバシー保護や騒音対策を徹底してまいります。今後も説明会等を通じて丁寧な対話を継続し、令和9年8月の設計完了に向けて、地域の安全・安心の拠点整備を着実に進めてまいります。